TOSHIBA

dynabook TX シリーズ

TVチューナ内蔵モデルをご購入のかたへ

本製品をお使いいただくために、大切な事項がこの説明書に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつも見られるようにお手元に大切に保管してください。

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。
本書ではパソコンでテレビを見る方法について説明しています。あらかじめ『さあ始めよう』『応用にチャレンジ』をお読みのうえ、必要な準備を行ってからお使いください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

⚠注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊1）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊2）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「　」 他のマニュアルへの参照の場合 …『　』 できる dynabook への参照の場合 …《　》

＊1　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊2　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム
特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows XPです。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system日本語版を示します。

TVチューナ内蔵モデル
TVチューナが内蔵されているモデルを示します。

記載について

・アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは同梱の CD ／ DVD からインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
・本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

Trademarks

・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・InterVideo、WinDVD、WinDVR、WinDVD Creator は InterVideo, Inc. の登録商標または商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

コピーワンスについて

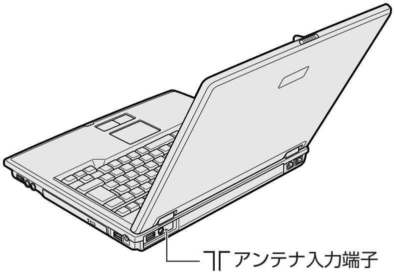
2004年4月1日より、NHKや民放連の地上／BSデジタル放送には、著作権保護の目的から、「コピーワンス」という1回だけ録画が可能になるコピー制御信号が加えられています。コピーワンスはDVDのCPRM（Content Protection for Recordable Media)規格を使用しています。本製品内蔵のTVチューナはアナログ放送用のものですので、地上／BS、CSデジタル放送用のチューナを接続して、番組を録画・視聴することはできません。また、テレビ番組を本製品で録画・再生される限り、コピーワンスについてご注意いただく必要はありません。他のレコーダなどでNHKや民放連の地上／BSデジタル放送の番組をDVD-RAMやDVD-RWディスクへ録画した場合は、そのディスクを本製品で再生することはできませんので、番組を録画した機器で再生いただくか、または他のコピーワンスに対応した機器で再生してください。

お願い

・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS)、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
・Windowsのシステムツールまたは『困ったときは』に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
・内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS)、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
・購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
・ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。

1　TVチューナ内蔵モデルについて

本製品にはTVチューナが内蔵されています。
パソコン本体背面に、アンテナ入力端子が用意されています。



【 TVチューナの仕様 】

●TVチューナ　1台内蔵　　●アンテナ入力（φ2.5mmミニジャック）　1個装備

映像	映像入力フォーマット	525line/60Hz(NTSC)～720×480@30fps
	圧縮方法	MPEG2
	出力ビットレート	2/4/5Mbps
音声	圧縮方法	MPEG2-Audio Layer2
	サンプリングレート	48kHz
	出力ビットレート	224kbit/sec.
受信チャネル	VHF/CATV	1～3、4～12/C13～C22、C23～C44
	UHF/CATV	13～62/C45～C63
ビデオ・インタフェース		NTSC
外部インタフェース	アンテナ部	同軸　75ΩF型(UHF/VHF兼用) 付属のアンテナF型変換ケーブルを使用

2 パソコンでテレビを見る

本製品には TV チューナが内蔵されています。「WinDVR（ウィンディーブイアール）」を使ってテレビ番組をパソコン画面に表示したり、録画することができます。また、録画した番組を編集したり DVD に保存したりすることもできます。

テレビアンテナを、アンテナ変換ケーブルを使ってパソコンに接続する

参照 「本節 ❷ ケーブルの接続」



テレビを見る・録画する

参照 『図解で読むマニュアル テレビを見る／番組を録画する』



映像を編集する

参照 『図解で読むマニュアル 映像を編集してDVDに残す』



録画・編集したデータを保存する

参照 『図解で読むマニュアル 映像を編集してDVDに残す』



ここでは「WinDVR」を使って、パソコンでテレビ番組を見たり録画したりするときのことを説明します。

1 TV チューナの使用にあたって

【 アンテナについて 】

- 画像や音声の品質はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 電波の弱い地域で、受信状態が悪い場合は購入店にご相談されるか、市販のアンテナブースターをご利用ください。アンテナブースターのご使用方法は、アンテナブースター付属の説明書をご覧ください。

【 大切な録画・録音・編集について 】

- 大切な録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行い、正しくできることを確かめてください。
- 放送チャンネルや番組によっては、音量オーバーすると音が割れたり、飛んだりすることがあります。必要に応じて調整してください。

【 テレビ視聴と録画について 】

- バッテリ駆動で使用中にテレビ視聴や録画を行うと、バッテリの消耗などによって画像がコマ落ちするおそれがあります。必ず AC アダプタを電源コンセントに接続して、使用してください。
  また、本製品の省電力機能が実行されないようにしてください。

  参照 省電力機能について『応用にチャレンジ 4 章 2 省電力の設定をする』

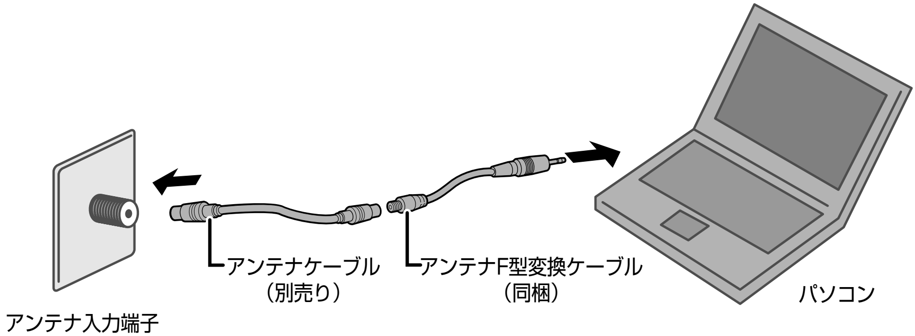
- 録画中や再生中にパソコン本体に振動や衝撃を加えると、映像が途切れたり、停止したりしてしまうことがあります。
- CATV 番組の受信には、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった番組（有料放送など）の視聴・録画にはホームターミナル（アダプタ）が必要になる場合があります。詳しくは、ホームターミナルに添付の説明書をご覧になるか、各 CATV 会社にお問い合わせください。

【 対応する地域について 】

- 日本国外ではご使用になれません。日本国内でご使用ください。
- 本製品の TV チューナは PAL ／ SECAM 方式の受信が可能であり韓国への持ち込みと使用は韓国の法令により禁止されています。

② ケーブルの接続

パソコンのアンテナ入力端子とご家庭のテレビアンテナ（アンテナ入力端子）をケーブルで接続します。接続には、同梱のアンテナ F 型変換ケーブルを使用してください。



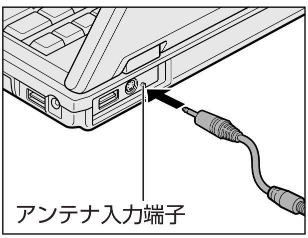
1 アンテナF型変換ケーブルの接続

⚠ 注 意

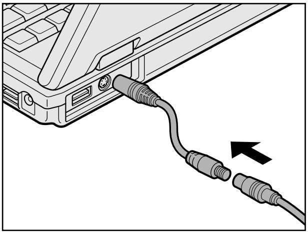
- 雷が鳴り出したら、アンテナ線には触れないでください。感電の原因となります。
- アンテナがパソコン本体に接続されている間は、AC アダプタを必ずパソコン本体に接続してください。落雷により感電するおそれがあります。

1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る

2 アンテナ F 型変換ケーブルをアンテナ入力端子に接続する



3 アンテナ変換ケーブルにアンテナケーブルを接続する



3 「WinDVR」を使う

お願い WinDVRの使用にあたって

- 「WinDVR」で録画されたテレビ番組などは、個人で楽しむ目的だけに使用できます。
- 「WinDVR」動作中は画面解像度、色数の設定変更を行わないでください。
- パソコンの電源がオフの場合、予約録画を実行できません。予約録画中は、ログオフしないようにしてください。
- パソコンがログオフ状態の場合は予約録画を実行できません。
- 予約録画を設定する場合は、必ず録画可能時間を確認して行ってください。
- 「WinDVR」を使用するとき（再生、録画、予約録画など）は、必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源に接続して使用してください。バッテリ駆動で使用すると、バッテリの消耗などにより、録画が失敗したり、音が飛んだりするおそれがあります。
- 使用状況やシーンによっては映像がスムーズに再生されない場合があります。
- 他のアプリケーションが動作していると、音飛びが発生したり、音と映像がずれたり、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
  「WinDVR」の動作中は、他のアプリケーションを終了してください。
  音ずれが起こったときは、1度「WinDVR」を終了し、他のアプリケーションをすべて終了してから、「WinDVR」を起動してください。
- 著作権保護されているコンテンツは録画、および視聴することができません。
- 録画ボタンをクリックして録画している間に予約録画の開始時間になると、通常録画が止まり、保存名を入力する画面が表示されます。
  保存名を入力して［OK］ボタンをクリックするか、キャンセルするまで予約録画は始まりません。

- テレビ番組を、ビデオデッキやアナログのビデオカメラのテープの映像を録画・取り込みし、編集するときは、まず「WinDVR」を使用して映像を取り込み、その後「WinDVD Creator 2 Platinum」で編集してください。「WinDVR」の使いかたは『図解で読むマニュアル テレビを見る／番組を録画する』、「WinDVD Creator 2 Platinum」の使いかたは『図解で読むマニュアル 映像を編集してDVD に残す』をご覧ください。
- 二カ国語放送、またはステレオ放送受信中、セットアップダイアログのTV タブにあるオーディオモードの設定を変更すると、出力される音声はモノラル、またはメインとなります。
  出力音声を切り替える場合は、「WinDVR」のコントロールパネルからサブパネルの「TV パネル」を表示して［TV オーディオ］ボタン、またはビデオウィンドウを右クリックして表示されるメニューの［TV オーディオ］から行なってください。
- チャンネルのオートスキャンを実行したとき、映像表示可能なチャンネルでも検出できない場合があります。
  セットアップダイアログのチャンネルタブにある、［ファインチューン］下のスライダーバーを左右に動かして調整してください。
- 録画品質を「良」、「最良」に設定して録画したファイルを、小さい画面（約360 × 270 以下）で再生すると、画面の右側と下側の一部が欠けて表示されます（ウィンドウ枠の外に出てしまい、見えなくなります）。
  ビデオウィンドウのサイズを大きくしてください。
- 「WinDVR」の動作中、次の予約録画開始時刻の3 分前以降にスタンバイになると、予約録画が開始されません。
  予約録画開始時刻の3 分前以降はスタンバイが実行されないようにしてください。
- 「WinDVR」を使用中、まれにビデオウィンドウが青くなり、映像が正しく表示されなくなることがあります。
  画面上をクリックする、または、ビデオウィンドウを移動してください。
- 「WinDVR」をインストールするときは、コンピュータの管理者アカウントが必要です。「WinDVR」をインストールするときは、コンピュータの管理者アカウントでログオンしてインストールしてください。
  ＊ 本製品にはあらかじめインストールされています。
- 連続した複数の予約録画がある場合、次の録画の準備を行うため、設定した終了時刻よりも約40 秒程度早く停止します。
  （例） 1:00-2:00 と2:00-3:00 の録画予約がある場合、1:00-2:00 の録画が約40 秒程度早く、つまり1 時59 分20 秒頃に録画が終了します。
  本ソフトウェアの仕様のため、連続した予約録画を行う際はご注意ください。

- ユーザパスワード、Windows ログオンパスワードのいずれかまたは両方を設定している場合、休止状態またはスタンバイになると、予約録画が実行されません。
休止状態またはスタンバイの状態で予約録画を行う場合は、録画の予約前にそれぞれのパスワードを削除してください。

参照 『さあ始めよう 4 章 パスワードについて』

- はじめて「WinDVR」を使用するとき、セットアップ手順でオートスキャンを実行した後、映像が正しく表示されないことがあります。その場合は、「WinDVR」を 1 度終了してから起動し直してください。映像が正常に表示されます。
- スタンバイまたは休止状態から自動で起動して予約録画をすると、予約録画終了後に自動でスタンバイまたは休止状態に移行しない場合があります。

1 起動方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［InterVideo WinDVR］→［InterVideo WinDVR］をクリックする

「WinDVR」の使い方については、同梱の『図解で読むマニュアル テレビを見る／番組を録画する』をご覧ください。

バッテリ駆動で使用中にテレビ視聴や録画を行うと、バッテリの消耗などによって画像がコマ落ちするおそれがあります。必ず AC アダプタを電源コンセントに接続して、使用してください。
また、本製品の省電力機能が実行されないようにしてください。

参照 省電力機能について『応用にチャレンジ 4 章 2 省電力の設定をする』

2 ヘルプの起動方法

1 WinDVR コントロールパネルの［ヘルプ］ボタン（ ? ）をクリックする

参照 「WinDVR」の問い合わせ先
『図解で読むマニュアル テレビを見る／番組を録画する』

3 困ったときは

Q テレビの映りが悪い、映らない

A アンテナが正しく接続されていない可能性があります。
詳しくは、「2-❷ ケーブルの接続」を確認してください。

A 「WinDVR」で、チャンネルが設定されていない可能性があります。
詳しくは、『InterVideo WinDVR のヘルプ』を確認してください。

Q テレビ番組表が利用できない

A インターネットに接続していない可能性があります。
インターネット接続については、《できる dynabook》を確認してください。

Q 録画予約した番組が録画できていない

A パソコンの時計が合っていない場合があります。
日付と時刻の設定については、『さあ始めよう 1 章 4 電源を切る／入れる』を確認してください。

Q CATV 放送が見られない

A CATV ホームターミナルと正しく接続されていない可能性があります。
CATV ホームターミナルの取扱説明書をご覧になるか、ご加入の CATV 会社に確認してください。

Q 映像をハードディスクに取り込むことができない

A ハードディスクの空き容量が不足している可能性があります。
録画した映像やテレビ番組を DVD に書き込み、必要のなくなったデータを削除して、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

A パソコンとテレビアンテナが正しく接続されていない可能性があります。
詳しくは、「2-❷ ケーブルの接続」を確認してください。

A テレビから録画、録音を行うときは「WinDVR」を使用してください。
それ以外のアプリケーションでは動作保証していません。「Windows ムービーメーカー」や市販のアプリケーションは使用しないでください。

Q 録画中の音声が録音されない「WinDVR」で音が出ない

A ［ボリュームコントロールのプロパティ］の録音の設定で［ライン入力］のチェックがはずれている可能性があります。

ボリュームコントロールについては、『応用にチャレンジ 1章 4 サウンド機能』を確認してください。

A ボリュームダイヤルまたはボリュームコントロールで音が聞こえないように調節されている場合があります。

音量の調節については、『応用にチャレンジ 1章 4 サウンド機能』を確認してください。

映像を取り込んでいる間にボリュームコントロールで調節しようとすると、パソコンの処理が遅くなり、取り込みが停止する可能性があります。

映像の取り込みや録音を行う前にボリュームコントロールを確認してください。

A テレビから録画、録音を行うときは「WinDVR」を使用してください。

それ以外のアプリケーションでは動作保証していません。「Windows ムービーメーカー」や市販のアプリケーションは使用しないでください。

技術的なお問い合わせは

▼お問い合わせの多い質問をインターネットでご紹介「よくあるご質問（FAQ）」

http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

▼専用フォームからお問い合わせ「PCオンライン」

よくあるご質問（FAQ）で問題が解決しないときはアンケートにお答えいただき、専用フォームから文書でお問い合わせください。※ご利用にはお客様登録が必要です。

▼専門スタッフが電話で受付「東芝PCダイヤル」

ナビダイヤル 0570-00-3100

受付時間：9:00〜19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話などで、上記電話番号に接続できないお客様は
043-298-8780までご連絡ください。

修理のお申し込みは

東芝PC集中修理センタ

▼インターネットでお申し込みの場合

http://dynabook.com/assistpc/pcfix.htm

▼電話でお申し込みの場合

フリーダイヤル ハロー クイックニ
0120-86-9192

受付時間9:00〜17:30（祝日、特別休日を除く）
海外からの電話、携帯電話などで、上記電話番号に接続できないお客様は
043-278-8122 までご連絡ください。

修理の際は、簡単・便利な「ピックアップサービス」をご利用ください。
輸送業者がパソコン輸送専用の梱包箱を持参してご自宅まで伺い、面倒な梱包から引き取り、修理完了後の納品まで行います。
※「ピックアップサービス」はメーカ保証修理の場合、「無料」です。

お問い合わせの詳細につきましては、『困ったときは 1章』をご参照ください。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
　東芝PCダイヤルにお問い合わせください。

dynabook TXシリーズ
TVチューナ内蔵モデルをご購入のかたへ

平成16年12月9日　第1版発行　GX1C0007E110

発行　株式会社 東芝 PC＆ネットワーク社

PC第一事業部　〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

PRINTED WITH SOY INK™

この冊子は植物性大豆油インキを使用しております。
この冊子は再生紙を使用しております。

株式会社 東芝 PC＆ネットワーク社

PC 第一事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1

GX1C0007E110
PRINTED IN JAPAN